

# 仁方中学校区小中一貫教育だより



仁方中学校・仁方小学校

令和5年 12月発行

仁方中学校区では、「主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童生徒の育成」を目指して、さまざまな取組を行っています。2学期に行ったものをいくつか紹介します。

## 仁方中学校区での研究授業

仁方中学校区では、年に2回、小中合同で研究授業を行っています。9月には、仁方小学校で5年生の総合的な学習の時間の研究授業を行いました。呉市の無形文化財になっている「仁方の權踊り」について学んだことを、「『だれに』・『どのように』広めていけばよいのだろうか」をめあてに、タブレットを活用しながら自分の考えを交流しました。児童から出た意見を生かし、実際に10月に行われた学習発表会で仁方の權踊りを多くの方に観ていただくことができました。

11月には、仁方中学校で3年生の総合的な学習の時間の研究授業を行いました。「仁方の防災をこれからも充実させるために、何を伝えるとよいか考える」をめあてに学習に取り組みました。3年生が作成した防災の知識についてまとめた番組を観た1・2年生の感想を基に、自分たちの伝えたい内容が正しく伝わっていたか検証し、2年生に実行してほしい防災の取組について話し合ったりまとめたりしました。

授業参観後、小中の教員が合同で研修を行っています。研究授業から得た学びを、日々の授業でも生かせるようにしています。

校区の児童生徒を同じ視点で見つめ、よりよい授業となるよう、今後も研修を重ねていきます。



## 乗り入れ授業

乗り入れ授業は、小学生が中学校の先生の授業を実際に受けることで、児童の中学進学後の不安感を減らし、期待をふくらませる機会になっています。3学期にはオープンスクールを予定しています。

今年度の乗り入れ授業では、中学校の児玉教諭が小学6年生に体育科の指導を行いました。

どきどきの顔合わせで始まった1時間があったという間に過ぎていきました。個人でソフトバレーボールを打ちながら移動したり、グループでパスを何回続けることができるかに挑戦したりしました。児童は、安定してボールを打ち返すときのこつや、相手に対する思いやりが大切だということ学ぶと共に、中学校での学習や先生方との出会いにわくわく感を高めていました。



## 異年齢交流活動

中学3年生—小学2年生

10月27日（金）に、仁方小学校体育館で中学3年生と小学2年生による絵本会を行いました。グループごとに分かれて、中学生が小学生に向けて絵本の読み聞かせをしたり、クイズやものまねなどの楽しい活動をしたりしました。小学生は中学生の読み聞かせに興味をもって聞き、一緒に楽しく活動することができました。また、中学生の静かに集合する姿や自分から進んで行動する姿を通して、学習するときの姿を学ぶことができました。

